

富士山に最も近い湖、山中湖

山中湖は富士五湖の中で最大で、富士山に最も近い湖です。他の 4 つの湖よりも若干高い標高 1,000m 弱の場所にあり、夏でも涼しく心地よい湖です。五湖の中で水深が最も浅く、特徴的なクジラのような形をしています。

山中湖村は東京から車でわずか 90 分のところに位置しており、簡単にアクセスできます。村には観光業が深く根ざしており、長きにわたって夏の避暑やレクリエーションのために訪れる場所となってきました。山中湖の周辺には多くのレストランやホテルがあり、湖岸をほぼ一周するようにサイクリングロードが整備されています。

魅力的な景色や美しい自然環境を求めて、多くの高校や大学の運動部が村でトレーニング合宿をするために集まってきました。2020 年の東京オリンピックの自転車ロードレース競技の開催地としても選ばれました。

白鳥とマリモ

夏になると、山中湖への来訪者はセーリングやウェイクボードやその他の水のスポーツを楽しむことができます。この湖には優雅なハクチョウが 1 年中生息しており、来訪者はブラックバスやワカサギを釣ることができます。

1959 年には山中湖が新発見の舞台となりました。フジマリモです。マリモはビロードのような丸い藻で、冷たい静水域でよく成長し、これらは通常フィンランドや北海道など、北欧や北日本で見られるものですが、「フジマリモ」は、今では山中湖、それに河口湖と西湖に分布する別種として認められています。

ダイヤモンド富士

「ダイヤモンド富士」現象は、わずかな間に太陽が富士山の平らな山頂に沈み、宝石のように輝くときに発生します。山中湖村では、この有名な景色を毎年 10 月下旬から 2 月中旬にかけて見ることができます。